NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

2017年9月13日

日本コンセプト株式会社
決算説明会資料



東証一部（9386）

Responsible Care For Global Environment

１．会社概要

２．2017年度　２Q決算

３．財務ハイライト

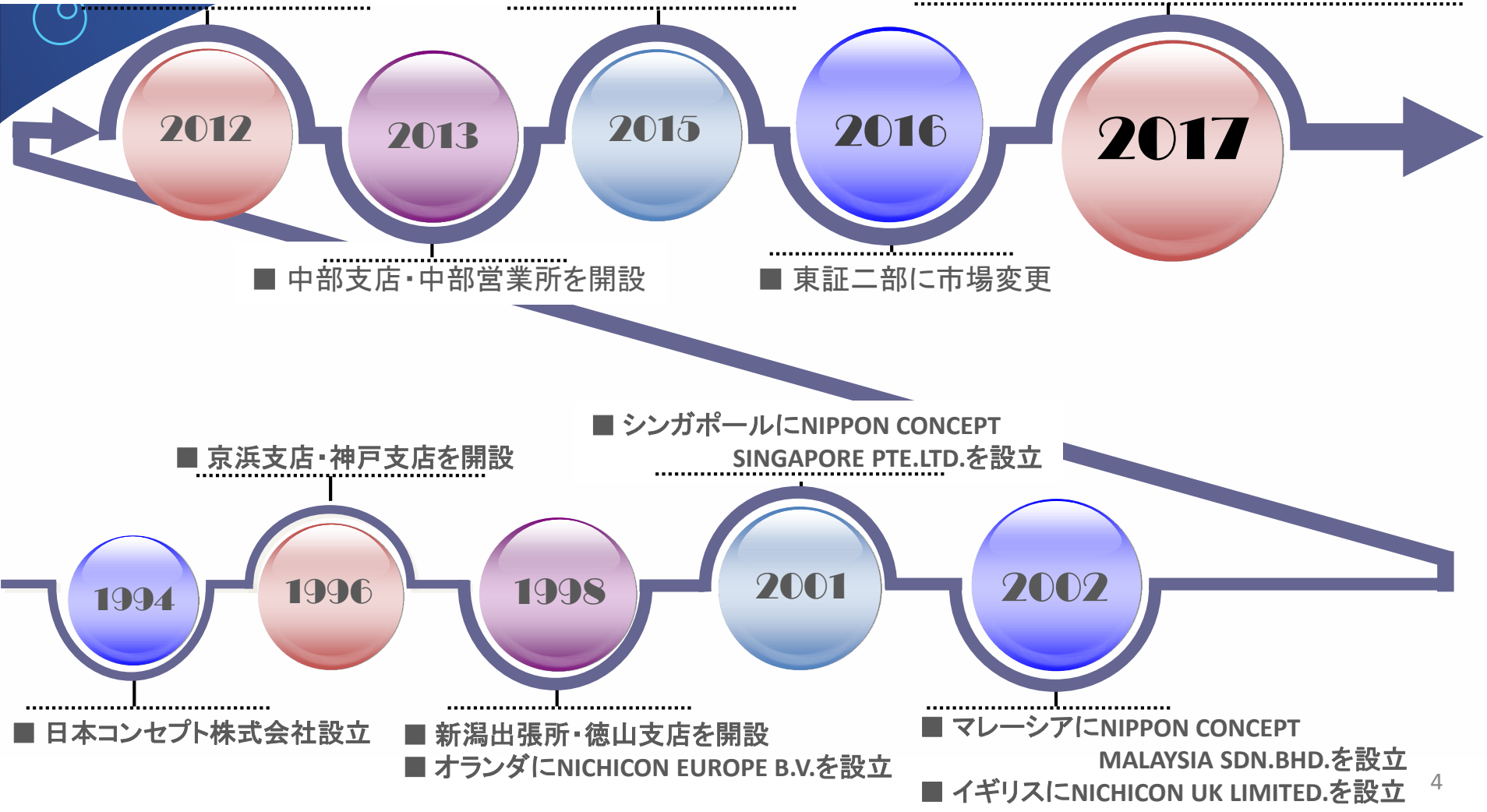
４．ビジネスモデル

1-1　CORPORATE PROFILE

社　　名	日本コンセプト株式会社
設　　立	1994年1月6日
所　在　地	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 8階
代表取締役社長	松元　孝義
資　本　金	6億44万円　（2016年12月末時点）
上 場 市 場	東京証券取引所 市場第一部 （証券コード　9386）
単元株式数	100株
決　算　期	12月
子 会 社 数	6社
従 業 員 数	164名　（連結、2016年12月末時点）



1-2 CORPORATE HISTORY



1．会社概要

2．2017年度　２Q決算

3．財務ハイライト

4．ビジネスモデル

2－1　2017年度2Q決算　連結損益計算書

（単位：百万円）

科　　目	第 23 期 2016年1月1日～ 2016年6月30日		第24期 2017年1月1日～ 2017年6月30日		増　減 金 額	 率
売上高	5,431		5,638		207	3.8%
売上原価	3,810		4,011		200	5.3%
売上総利益 (率)	1,620	(29.8%)	1,627	(28.9%)	6	0.4%
販売費及び一般管理費	637		659		22	3.5%
営業利益 (率)	982	(18.1%)	967	(17.2%)	△15	△1.5%
営業外収益	11		14		2	20.5%
営業外費用	119		55		△63	△53.5%
経常利益 (率)	875	(16.1%)	926	(16.4%)	51	5.8%
特別利益	2		－		△2	△100.0%
特別損失	7		3		△3	△52.1%
税金等調整前当期純利益 (率)	870	(16.0%)	922	(16.4%)	52	6.0%
法人税等	273		273		△0	△0.1%
当期純利益 (率)	596	(11.0%)	649	(11.5%)	52	8.8%

2－2　2017年度2Q決算　連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	第23期（2016年12月31日）	第24期（2017年6月30日）	増減 金額	増減 率
【資産の部】				
流動資産	3,922	4,072	149	3.8%
現金及び預金	2,569	2,403	△165	△6.5%
売掛金	1,177	1,127	△50	△4.3%
その他	176	542	365	207.6%
貸倒引当金	△1	△1	△0	24.9%
固定資産	10,897	10,884	△12	△0.1%
有形固定資産	10,637	10,553	△84	△0.8%
建物及び構築物　（純額）	883	1,187	304	34.4%
タンクコンテナ（純額）	7,098	6,866	△232	△3.3%
土地	2,195	2,195	－	－
その他（純額）	458	302	△156	△34.0%
無形固定資産	138	169	31	22.6%
投資その他の資産	121	161	39	32.6%
繰延資産	0	－	△0	△100.0%
資産合計	14,819	14,956	136	0.9%

科　目	第23期（2016年12月31日）	第24期（2017年6月30日）	増減 金額	増減 率
【負債の部】				
流動負債	2,884	2,939	55	1.9%
買掛金	772	778	5	0.8%
短期借入金	120	142	22	18.3%
1年内返済予定の長期借入金	1,191	1,087	△104	△8.8%
1年内償還予定の社債	30	－	△30	△100.0%
リース債務	267	281	13	5.1%
未払法人税等	167	296	129	76.9%
賞与引当金	24	24	△0	△2.5%
その他	309	329	19	6.4%
固定負債	4,892	4,530	△361	△7.4%
長期借入金	3,258	2,938	△320	△9.8%
リース債務	1,473	1,438	△35	△2.4%
退職給付に係る負債	92	97	4	4.7%
その他	67	56	△10	△16.2%
負債合計	7,777	7,470	△306	△3.9%
【純資産の部】				
株主資本	7,022	7,475	452	6.4%
資本金	600	600	－	－
資本剰余金	526	526	－	－
利益剰余金	5,896	6,348	452	7.7%
自己株式	△0	△0	－	－
その他の包括利益累計額	20	10	△9	△47.0%
純資産合計	7,042	7,485	443	6.3%
負債純資産合計	14,819	14,956	136	0.9%

１．会社概要

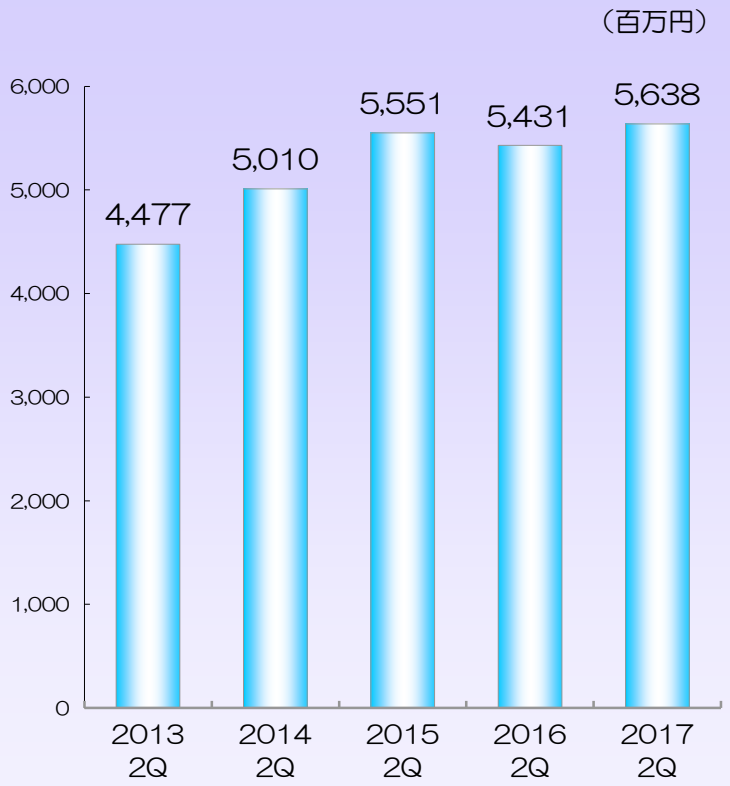
２．2017年度　２Q決算

３．財務ハイライト

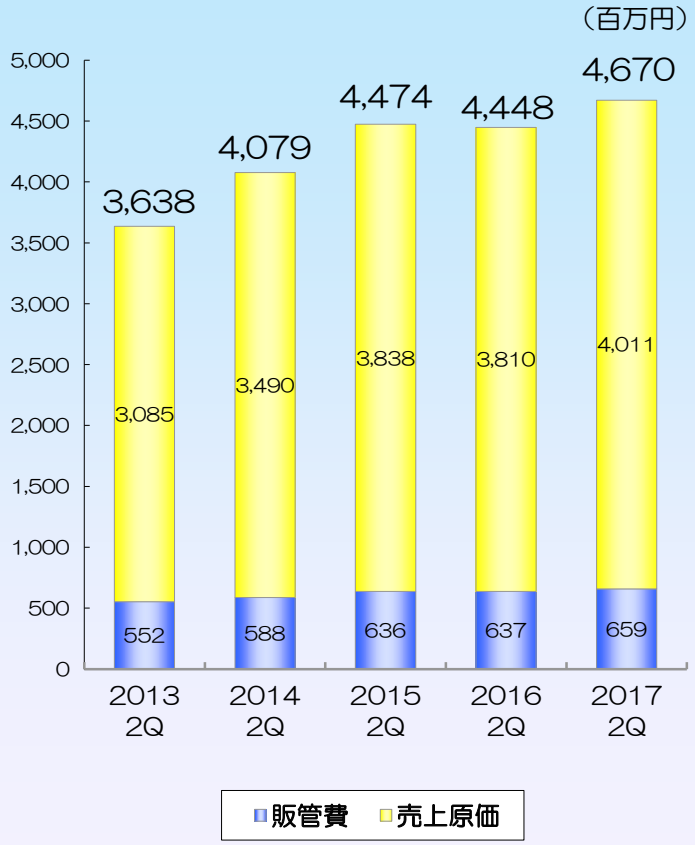
４．ビジネスモデル

３－１　財務ハイライト（収益関連①）

売　上　高

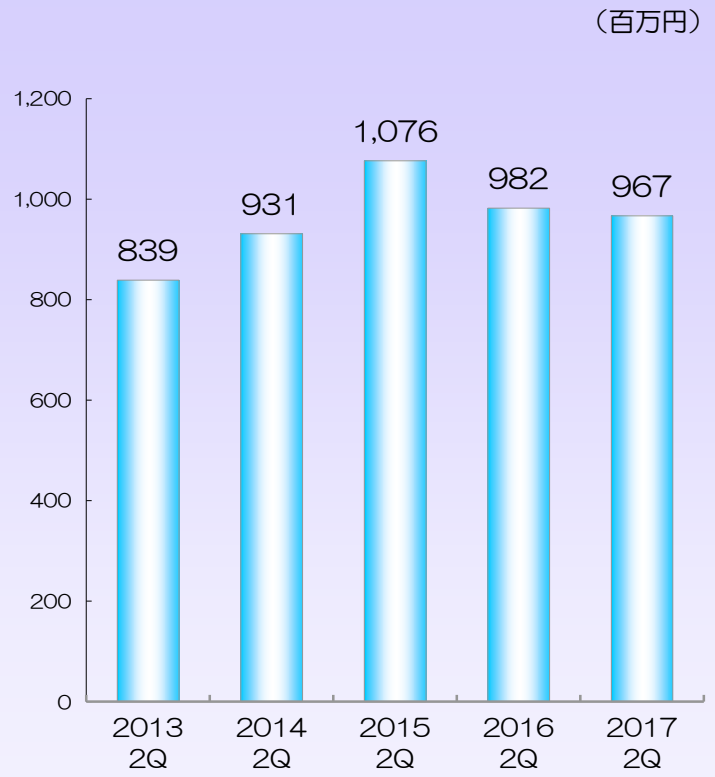


売上原価・販管費

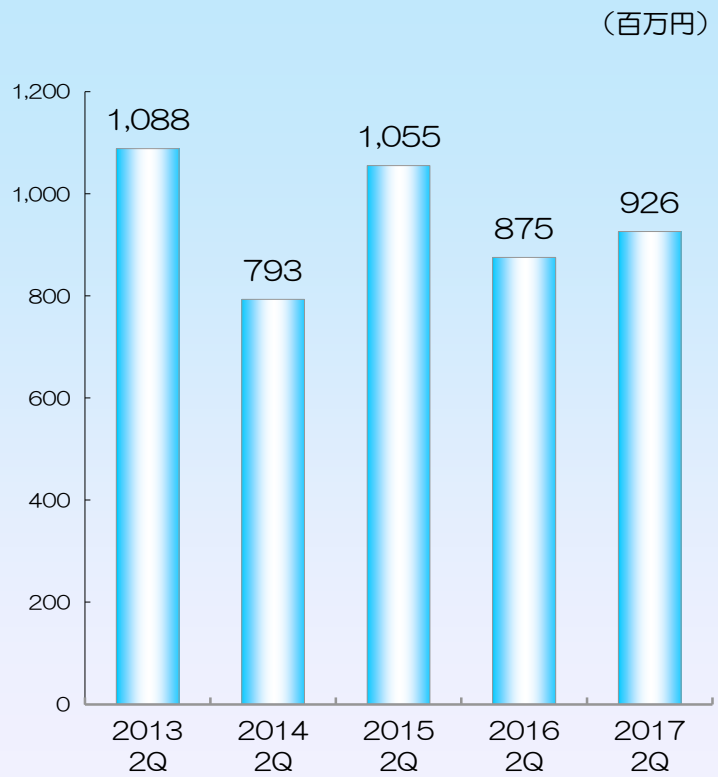


３－２　財務ハイライト（収益関連②）

営業利益

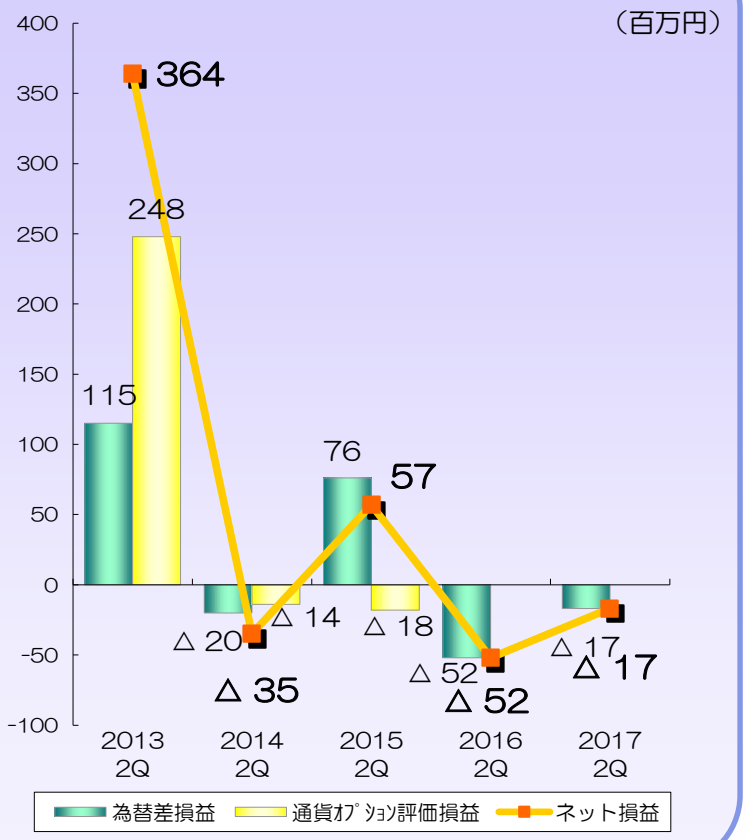


経常利益

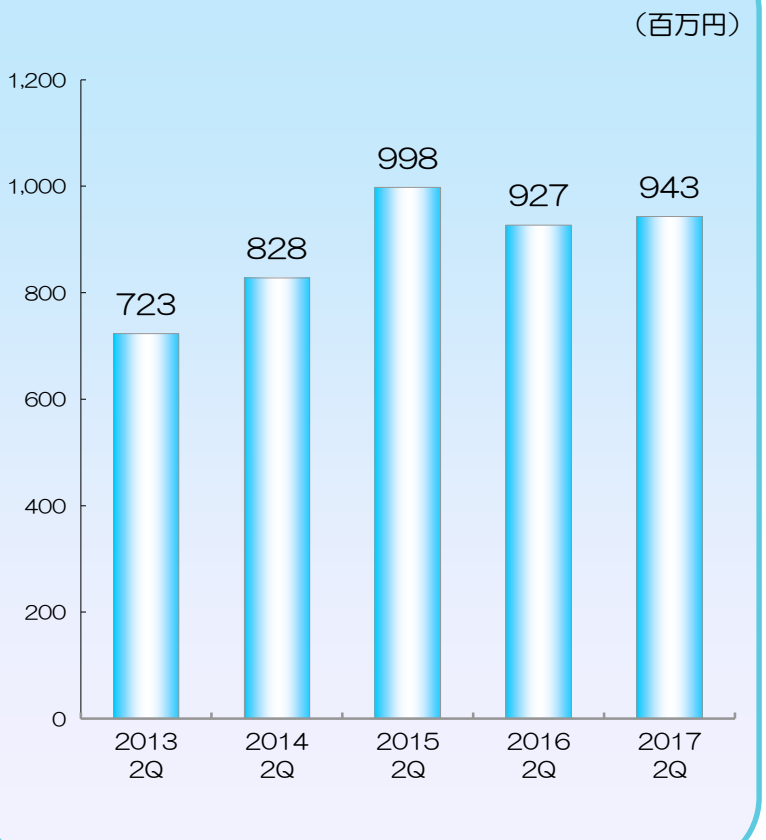


３－３　財務ハイライト（収益関連③）

○ 為替差損益・通貨ｵﾌﾟｼｮﾝ評価損益 ○

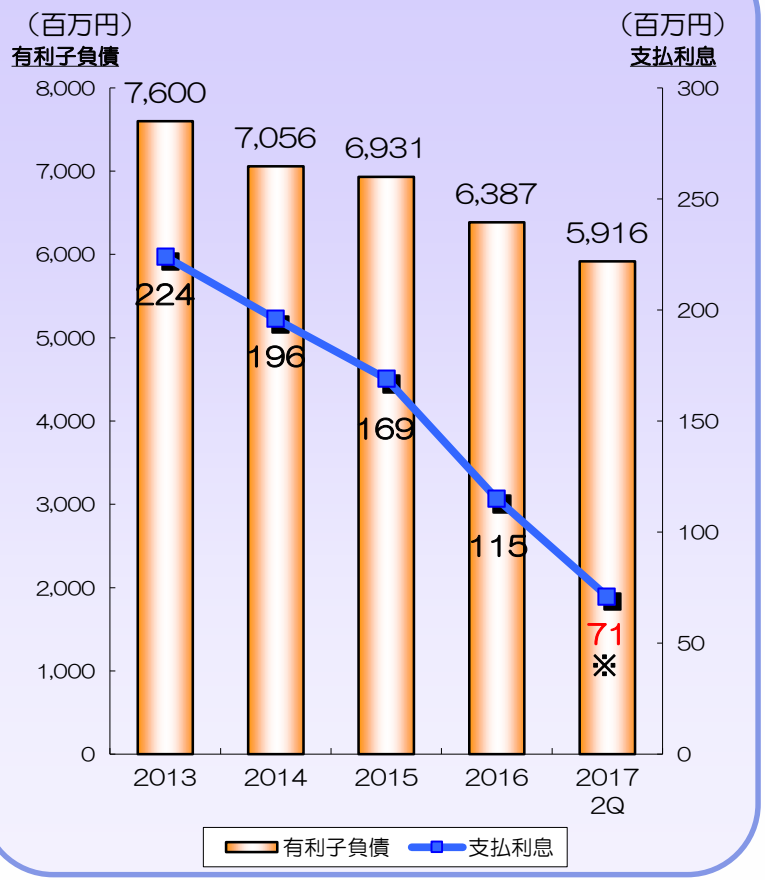


○ 経常利益（除く為替・通貨ｵﾌﾟｼｮﾝ）○



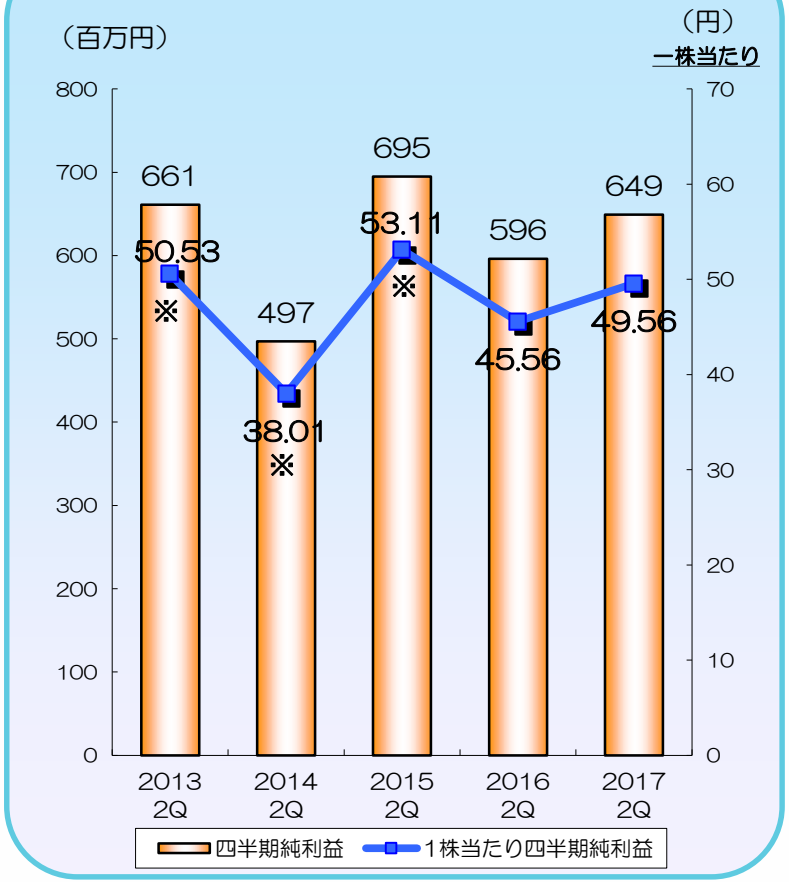
３－４　財務ハイライト（収益関連④）

有利子負債・支払利息



※　2017年の支払利息については通期の予想値を表示しております。

四半期純利益・１株当たり四半期純利益



※　当社は2015年10月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っておりますが、2013年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算出しております。

３－５　財務ハイライト（設備投資関連）

支店網充実による輸送量の増大



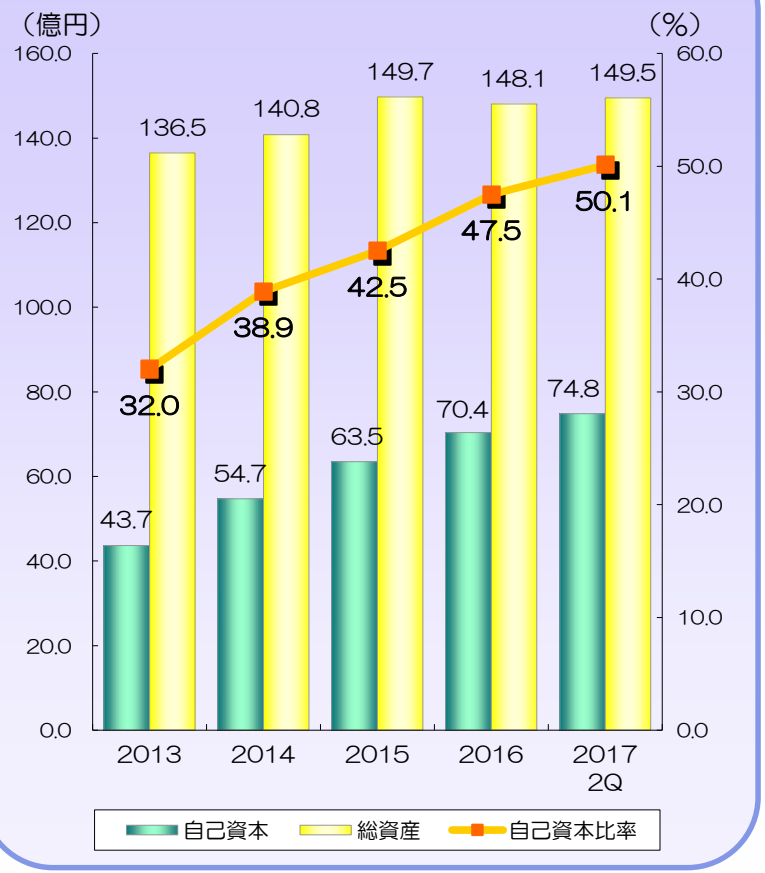
競争力の強化に向けた保有基数の拡充

稼働率を意識しつつ、輸送ボリュームの増加に見合った着実な増量を目指す

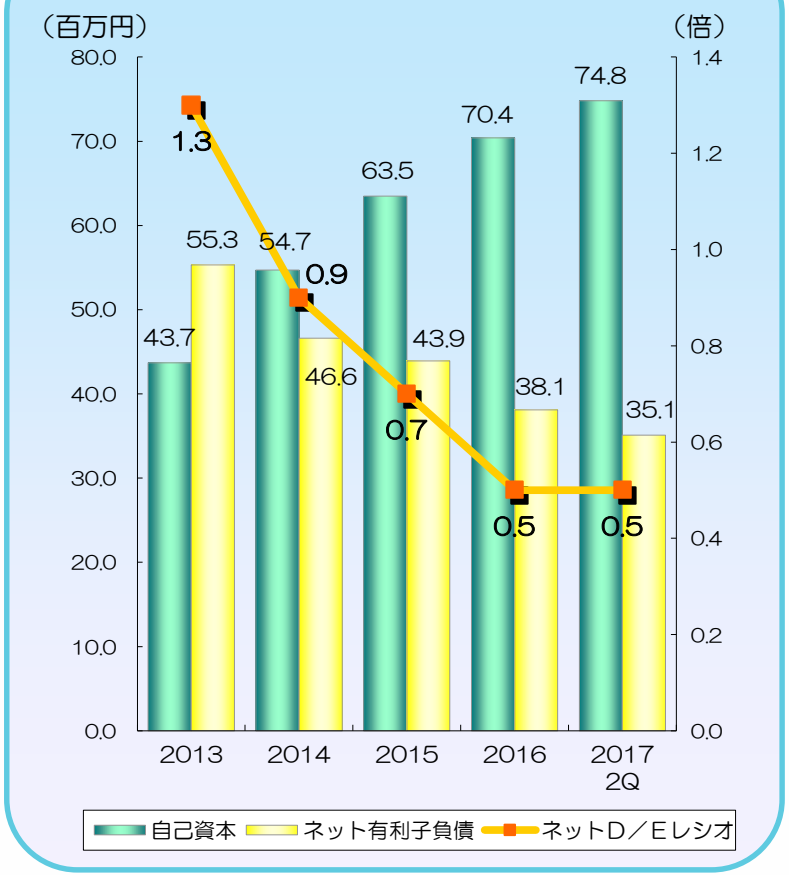


３－６　財務ハイライト（財務指標①）

自己資本比率



ネットD／Eレシオ



※　ネットD/Eレシオ（倍）＝（有利子負債 － 現預金）÷ 自己資本
・・・長期の支払能力（安全性）をはかる指標

1．会社概要

2．2017年度　２Q決算

3．財務ハイライト

4．ビジネスモデル

ワールド・ワイド　ソリューション

標準的な国際複合一貫輸送取引

出荷元
日本

陸上輸送
（トラック）

通関

海上輸送

通関

全区間トラック
トラック＋鉄　道＋トラック
トラック＋内航船＋トラック

納入先
スイス

Door To Doorの国際複合一貫輸送

さまざまな輸送手段・ルートから、最適な組み合わせをアレンジ

ドライコンテナと同規格であるため、
　あらゆる地域でトラックや鉄道、内航船など様々な輸送手段の利用が可能



=

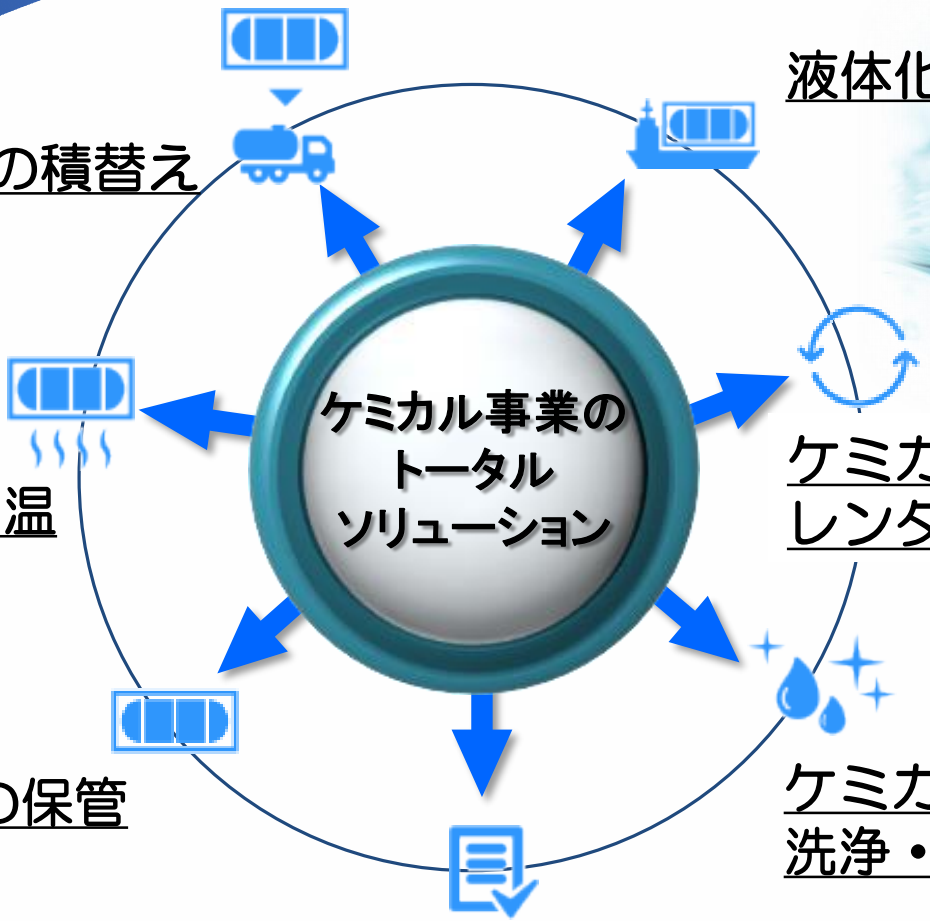








ケミカルタンクコンテナ事業の概要解説



液体化学品の積替え

液体化学品の輸送



液体化学品の加温

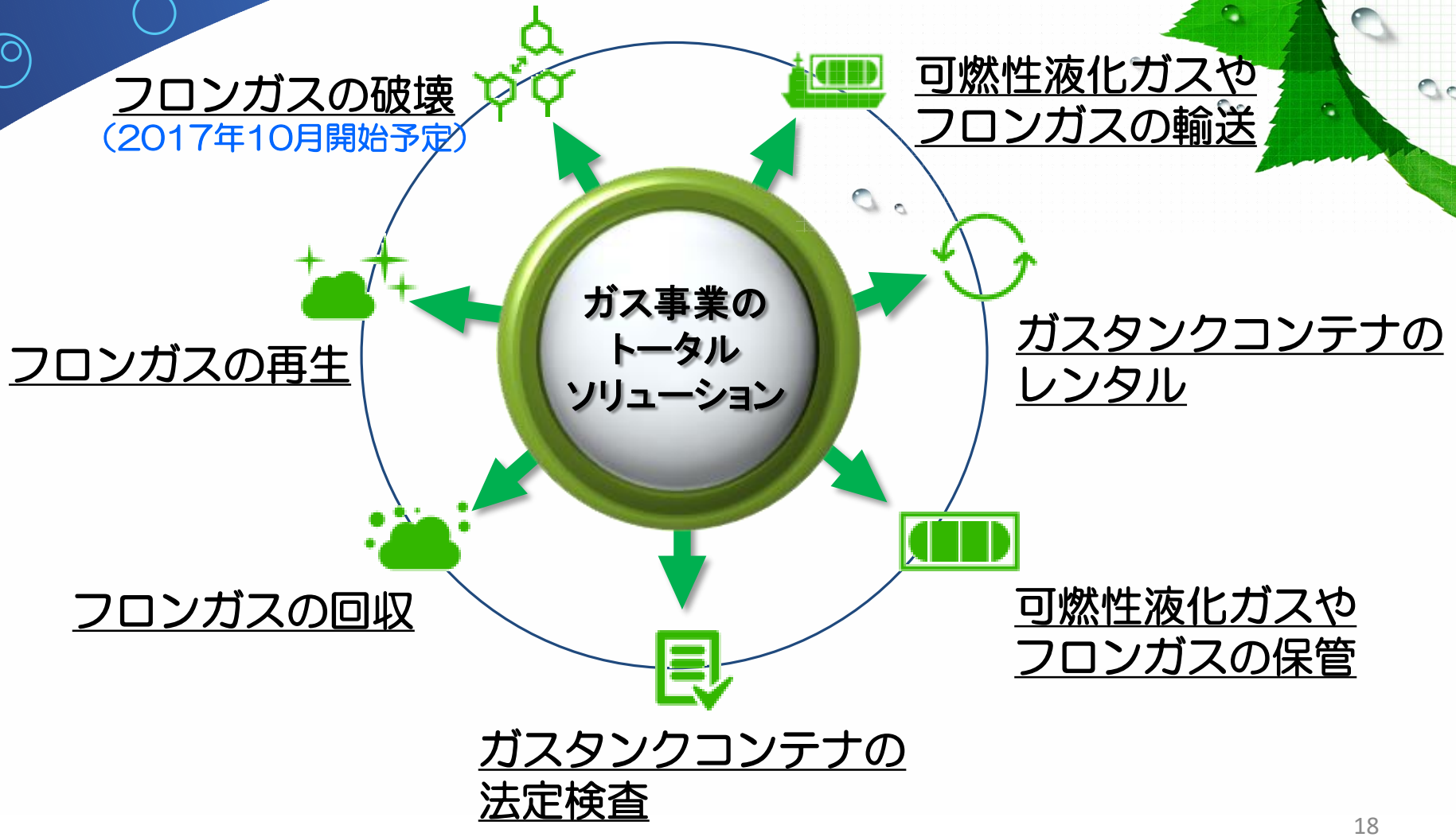
ケミカルタンクコンテナの
レンタル

液体化学品の保管

ケミカルタンクコンテナの
洗浄・メンテナンス

ケミカルタンクコンテナの
法定検査（2.5年毎）

ガスタンクコンテナ事業の概要解説①



フロンガスの破壊
（2017年10月開始予定）

可燃性液化ガスや
フロンガスの輸送

フロンガスの再生

ガスタンクコンテナの
レンタル

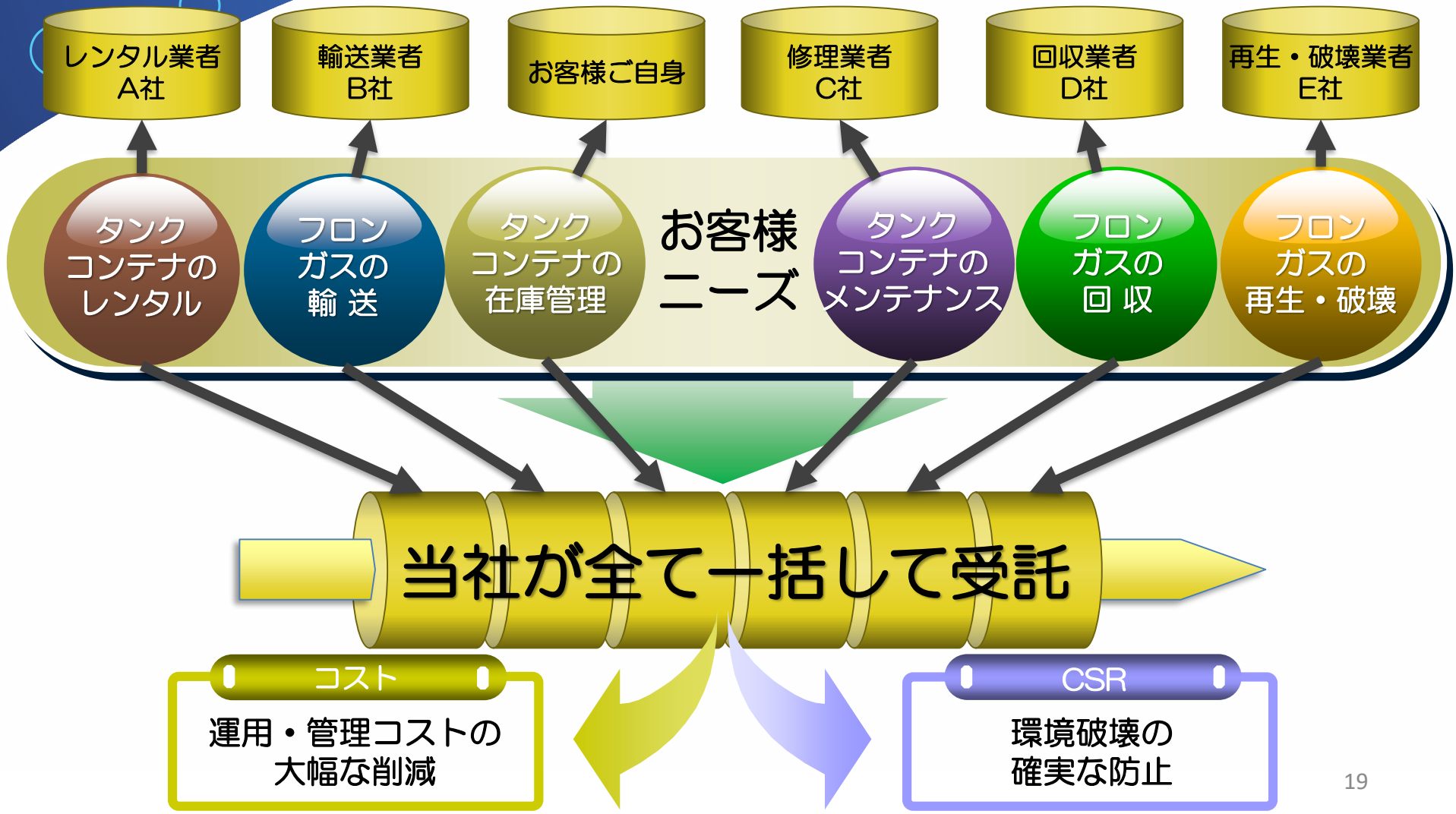
フロンガスの回収

可燃性液化ガスや
フロンガスの保管

ガスタンクコンテナの
法定検査

ガスタンクコンテナ事業の概要解説②

フロンガス関連のビジネスモデル



【参考】タンクコンテナの特徴

安全性　利便性　耐久性



液体化学品や可燃性の液化ガス等を安全な状態でお届けするため、タンクの板厚や安全弁、排出弁など、IMDG CODE（国際海上危険物規定）で定められている仕様に従うほか、世界を自由に行き来するため、ISO（国際標準化機構）の規格に準拠したISOタンクコンテナを使用しています。





ISOタンクコンテナの使用により、トラック、鉄道、外航船、内航船などの多様な輸送手段を利用できるうえ、各国の港における荷役設備等、輸送に係るあらゆるツールを活用することができるため、輸送途上で貨物の移し替えを必要としません。

また、その荷姿のまま一時貯蔵することも可能なことから、大規模なストレージ設備を持たない新興国などへも容易に貨物を輸送することができます。



当社が保有するISOタンクコンテナは耐食性・耐圧性に優れ、長期反復利用が可能な環境にもやさしい輸送容器です。

種類	規格 ※	タンク容量	外形寸法	材質	板厚
ケミカル タンクコンテナ	T11	24,000リットル	L6m×W2.4m×H2.6m	SUS316L（耐食性に優れたステンレス）	4mm
ガス タンクコンテナ	T50			P460NL1（耐圧性能が非常に高い鋼板）	18mm

※ IMDG CODEによる仕様分類